

(研究に関するお知らせ)**和歌山県立医科大学附保健看護学部の令和 2 年 3 月卒業の皆様へ**

和歌山県立医科大学保健看護学部では、以下の研究を実施しています。ここにご説明するのは、令和 2 年 2 月あるいは 3 月に実施したリエゾン精神看護学Ⅱの卒業前演習における演習評価のアンケートを振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる皆様に新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

ご自身の情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

教育と臨床の協働による就職前の看護学生の不安緩和にむけた卒業前演習の評価

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 水田真由美

3. 研究の目的

この研究は、教育と臨床の協働による就職前の看護学生の不安緩和にむけた卒業前演習の評価を行い、今後の教育内容を検討することを目的としています。新卒看護師の職場適応に向けた教育プログラム構築に寄与できるものと考えています。

4. 研究の概要**(1) 対象者**

令和 2 年 2 月および 3 月に実施した卒業前演習に参加し、演習評価アンケートを提出した皆様

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは令和 2 年 2 月 26 日あるいは 3 月 2 日に実施した卒業前演習参加後のアンケート結果です。「演習前後での不安の変化」「自己調整学習方略」「演習の役立ち度」「演習の感想」について分析します。

(3) 方法

研究期間は 2020 年 7 月～2023 年 5 月です。「演習前後での不安の変化」について、Wilcoxon の符号付き順位検定を行い、不安と自己調整学習方略については相関分析、アンケートの自由記述で得られたデータは質的記述的に分析します。

(4) 予想される利益・不利益について

本研究に参加することでの直接的な利益はありませんが、今後の卒業前教育に活かされ、さらには新卒看護師の職場適応に向けた教育プログラム構築に寄与できるものと考えます。また、本研究は、侵襲及び介入を伴わないため、本研究参加に伴って予想される不利益はありません。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報は、個人を特定できないように管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

皆様には、ご自身のアンケート結果が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は保健看護学部個人研究費および科学研究費補助金（18K10202）の助成で行われ、開示すべき利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市三葛 580

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 水田 真由美

TEL : 073-446-6700

E-mail : mizuta-nc@wakayama-med.ac.jp